

令和5年度

自己評価

まとめ

勝連こども園

令和5年度 勝連こども園 保育教諭自己評価まとめ

園の教育・保育理念

★生きる力・強い心持つ子どもを地域とともに育てる

園の教育・保育目標

★じょうぶな子ども・あかるい子ども・元気な子供・考えるこども

【職員評価について】

	内容	取組状況・課題
1	教育・保育目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育目標や理念は職員全体で共通理解し意思統一図られている。 ・基本理念及び教育保育目標を基礎とし、指導計画の作成を行っている。 ・園の基本理念や目標などは、園内研修等で日々の活動へも意識して取り組めるよう伝えている。 ・重点目標の周知、検討の時期が遅くなった。 ・理念や保育目標を意識し保育目標は日々の保育の中で、子ども達と復唱しながら、「じょうぶで明るい元気で考える」生きる力強い心の育ちを育んでいる。コロナ禍が明け、積極的に地域交流を繋げ、勝連こども園の存在をアピールすることができている。今後も全職員との共通理解に努め、地域に根差した園作りを目指す。
2	人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人への環境作り及び配慮が大切にされ子どもを理解し平等性が保たれ、尊重した教育保育が行われている。 ・常に人権尊重を意識している教育保育を行っているが、行事等で十分な時間確保が難しい場合急ぐよう促している。 ・個々を大切に子どもの思いや困り感に共感し子どもに寄り添う保育を意識している。慣れから呼び捨てしてしまうことがあるので尊重した呼び方を意識する。 ・園内研修などで子どもの人権について話し合っている。また関わり方や声掛けなど人格を尊重するよう気を付けている。
3	指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや支援児の実態に合わせた計画に取り組んでいる。 ・子ども一人一人に応じた環境づくりに心がけ様々な経験をさせることができた。 ・主幹によるアドバイスや改善点等により、保育者が自信につながった。 ・年齢に合わせた成長発達を意識しながら、保育の展開を意識し、計画に取り組んでいる。また、必要に合わせたアドバイスを行っている。保育の改善点や良い点は積極的に声をかけ保育者の自信につながるよう意識している。 ・担任間でしっかり話し合いを行い指導計画を作成している。発達に必要な経験においても必要な玩具や用具を揃えたりしているが、環境構成が上手くいかないこともあった。
4	教育・保育の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で支援児を見守る体制が充実していたが、関わり方については職員間でしっかりと共通理解できるよう努めた。 ・個別に絵本を読んだり、興味を持たせることで絵本の貸出が増えてきた。 ・支援が必要な子に対し、環境工夫が更に必要だと感じた。 ・草花、木、飼育、菜園活動など、自然に目を向けられる環境作りを意識している。遊びを通して、発見、興味関心を引き出すことができている。朝のマラソン活動や、園庭遊びなどを通しての体力向上を図っている。視覚教材や保育者、友達との遊びの中で様々な体験、対話を通し育ちあう環境づくりができている。子供の育ちを共有し、園全体で見守る環境づくりを更に意識していく。 ・園庭の草花で色水遊びや畑での栽培活動、またウサギとの触れ合いを通して自然と関わりが持てるようにしている。 ・毎朝のマラソンや園庭遊びを通して体力を向上させられるような活動を増やしていきたい。 ・支援児や気になる子への対応においては、活動内容の見直しや活動への参加を無理強いしないなど配慮しているが、関り方について職員間で話し合う時間をしっかり設けていきたい。

5	行事について	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て実行するが、取り組むまでに時間がかかってしまうことが毎年の反省点である。次年度はゆとりをもって子ども達と一緒に考え行事を進められるようにしていきたい。 ・行事の種類や回数が多いと感じる。職員間で話し合い回数や時期などを検討したい。 ・行事の種類や回数が多いと感じる。職員間で話し合い、回数や時期などを話し合いたい。行事後は、保護者アンケートを取り、保護者の意見を聞き次への改善につなげている。 ・年度末には行事の回数や内容について話し合い、アンケートや意見を参考に工夫や行事計画の作成を行っている。今後も行事の改善や必要性を検討し、勝連こども園に合わせた行事の展開を行っていききたい。
6	分掌・体制	<ul style="list-style-type: none"> ・担当（壁面）の仕事が積極的に取り掛かれていなかった。次年度は率先して動いていくようにしたい。 ・隣接の他園との交流は楽しく過ごすことができた。小学校の様子は出向くことができなかった。 ・係の仕事分担をもっと細かく割り当てて欲しいです。 ・係や仕事の分担は時間の使い方を工夫したいです。 ・係や担当の仕事分担において内容量の偏りを感じた。しっかり、分担していけるよう見直し改善していきたい。 ・職員の実力や育ちを考慮しながら、自己発揮できるようクラス配置、仕事の役割分担を行うことで職員の成長が見られた。しかし、不安が大きく力量が発揮できていない職員もいるため、自信に繋がるような言葉がけや工夫を行っていききたい。
7	運営	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングは情報の共有方法として効果的だと思う。 ・職員同士の意見を取り入れながら日々の保育に活かしています。 ・会議内容等が全職員に周知できるよう共通フォルダ内に会議録を残しつつ誰でも確認できるようになると尚いい。 ・職員間で教育・保育について話し合ったり、切磋琢磨することで質の向上につながり、こども園を盛り上げていると思う。 ・会議を計画通りに実行できない日もあるため、適切に進めていけるよう時間帯や職員配置の工夫をしていきたい。 ・朝の連絡、行事、保育連絡などの情報共有や会議を行い、保育運営や教育保育の向上につなげている。会議の目的を明確化し、誰でもわかりやすく、意見しやすい環境づくりを意識していきたい。
8	研修・自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修だけでなく、園外研修にも積極的に参加している。 ・園内研修では、外部講師を招いての研修を計画していきたい。 ・研修で得た内容については職員間で十分に周知できていないので伝達方法などの工夫をしたい。 ・土曜日の保育教諭全員が出席することで実りある園内研修となっている。 ・今年度は、研修への参加が少なかったため、次年度は研修へ積極的に参加したい。 ・園の実態、個々に合わせた研修計画を行っているが、計画通りに進めることや研修内容の共有がうまくできていないことがあったので、更にスムーズに展開できるような工夫を行っていききたい。
9	保健・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保健集会や毎月の避難訓練を計画的に行っている。 ・感染症などが発生すると、素早く保護者に周知するようにしている。また、健康・安全に気を付けて自己管理や危険察知が出来るように可能な限り戸外で遊ぶようにしている。 ・安全計画を製作しているが共有できていなかったと感じる。年度末には、職員での見直しを図り、次年度計画を進めていきたい。コドモンや掲示板の活用により、感染症の情報提供を素早く行うことができた。毎月の保健便りや、連休前指導、安全管理を行うことで大きなケガや事故はほとんどなく1年を過ごすことができています。 ・保健だよりを配布し保護者に知らせている。 ・子ども達へは紙芝居や絵本を通して、健康や安全について伝えるようにしている。 ・保健について年間で計画を立てているが、計画的に進められていない。保健便りを通して保護者へ健康についての発信は行っている。 ・避難訓練は毎月行っているが、担当との話し合いを密にしていきたい。

1 0	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・食育会議を毎月実施し、各クラスの食事の様子等を共有し、調理員へ要望を伝え、子ども達が楽しく食べれる意欲が育まれるような工夫がされている。 ・菜園活動や食材掲示、食事のマナーや食育集会等、様々な食育環境の中で子どもの食べる意欲に繋げることができた。又、調理員や食育担当を中心とした給食会議を通し、食事改善や工夫を行うことができた。 ・アレルギーについては全職員に周知している。 ・食べる意欲につながるように、バイキングなどで、食べる量を調整している。 ・食育集会や野菜の栽培活動、クッキングなどを通して食への興味関心を育む。毎月給食会議を行い意見が交換され、改善・工夫に努めている。 ・食材の展示や栽培活動を通して食に興味を持てるよう工夫している。収穫した食材を実際にクッキングして味わう体験を増やしていきたい。
1 1	守秘義務の厳守情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員秘密保持について周知し、理解している。 ・秘密保持が徹底され、守られている。 ・基本的なことを全員がしっかりと守っている。 ・個人情報の取り扱いなど、全職員に周知し、秘密保持を徹底している。 ・秘密保持についても年度初めの園内研修で確認している。 ・園内研修や会議を通し、秘密保持やプライバシー保護について徹底的な共有を図った。相談日時や内容、情報はメモし、園外に持ち出さない、個人情報や文書は、シュレッターで処理するなど、徹底している。 ・保護者や地域からの相談事項についても内容の秘密保持を徹底している。
1 2	施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・常に安全に配慮し気付いたことは職員で共通理解を図っている。又、毎月の安全点検を行い、安全面に配慮している。危険と思った場所、気付きはヒヤリハットに記載し、記録として残し職員間で確認し合っている。 ・保育室の整備整頓は子ども達と行うようにし、心地よく過ごせるようにしている。 ・子ども達の過ごしやすい室内環境作りの難しさを感じた。整理整頓や安全を配慮しながら用務員が主となって園舎周辺の安全と美化に気を配っている。 ・遊具・道具の管理、保育室の整理整頓が十分ではなかったので反省。次への課題にする。 ・毎月の安全点検や気付いたことは全職員で共通理解を図っていった。また、事故やヒヤリハットは記録に残している。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線に合わせ、安全点検を行い、事故防止に取り組んでいる。危険個所やヒヤリハット報告を通し、改善や修繕に取り組んでいる。研修を受けることで安全点検の意識向上に繋がった。安心安全、心休まる環境作りをしてくれる用務員に感謝。
1 3	施設間交流・保幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校でのお招き会などに参加し交流を行い、小学校入学への期待に繋げていく。 ・小学校連携や、地域の保育園を招いてのお招き会など積極的に計画することができた。交流では、互いに歩み寄ることが大切であると感じた。今後も積極的に計画していきたい。 ・学校や地域の保育園との交流を持つことがあり、とても良かったと思う。次年度も交流を深めていきたい。
1 4	家庭・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ムーチー作りや JA まつりなど地域の行事に参加していると思います。保護者からの言葉は主幹や担任に伝えるようにしています。 ・新型コロナウイルスが落ち着き今年は積極的に地域交流に努め、勝連こども園を知ってもらえる機会ができた。参観日や行事を通して、園の活動を保護者に知ってもらえたと同時に園の情報を配信し、地域の方を招いたムーチーづくりや誕生会でのマジックショー、地域散策への警察官の参加等園が地域の方に触れ、園を知ってもらえることへつながった。又、JA 祭りの参加では、多くの人へ園を配信できたと思っている。今後も地域に根差し地域に愛される園づくりを目指して地域に見守られながら安心して過ごせる園づくりを目指す。 ・送迎時に子供の様子を伝え合い保護者との信頼関係を築けるよう努めている。各クラス年に2回個人面談を実施。必要に応じて面談を設けることもある。保護者を含む地域の人材活用がまだまだできていないと思う。

15	子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援で園庭の開放や行事等への参加を行っている。 ・季節の行事に参加し、一緒に楽しむなど、子育て支援事業の活動が徐々に広がりつつある。 ・子育て支援ポスターや計画の掲示を行ったり、絵本の貸出や、園庭開放、行事参加等親子がいつでも気軽に参加できるような工夫を行った。特に体験型を多く取り入れることで興味を持って足を運んでくれる親子が増え交流の場づくりに繋がっている。今後も子育て支援事業の周知や活動の工夫を行っていききたいと思う。 ・園庭開放や行事への参加など充実してきていると思う。 ・子育てについては保護者を対象とした学習の機会は設けてみてもよいと思う。
16	情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板やコドモンなどで情報を発信できていると思う。 ・日々の様子をコドモンを通して発信している。 ・コドモンで写真を配信することで日々の教育保育を保護者に伝えている。 ・お便りやコドモンでのドキュメンテーション配信などを利用することで、周知に努める。ホームページやコドモンの活用がうまくできていないため工夫を行っていききたい。 ・ホームページをもっと上手く活用して園の周知や情報提供ができるよう内容の見直しを検討していききたい。
17	外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を導入し、施設運営の改善に努めている。 ・第三者の意見を参考に保育の改善や質の向上を目指した取り組みを行っている。姉妹園や地域の方を招いた公開保育等を行い意見やアドバイスをうかがう機会を設けていきたい。 ・第三者評価の結果を受け止め努めている。 ・第三者評価を受け、園の質の向上に努めている。 ・今年度第三者評価を受審し、園の課題を改善していく。 ・地域や保護者の意見を参考に玄関ドアの取っ手に安全対策としてグリップを付ける等環境の改善にも努めている。

職員の自己評価についての評価

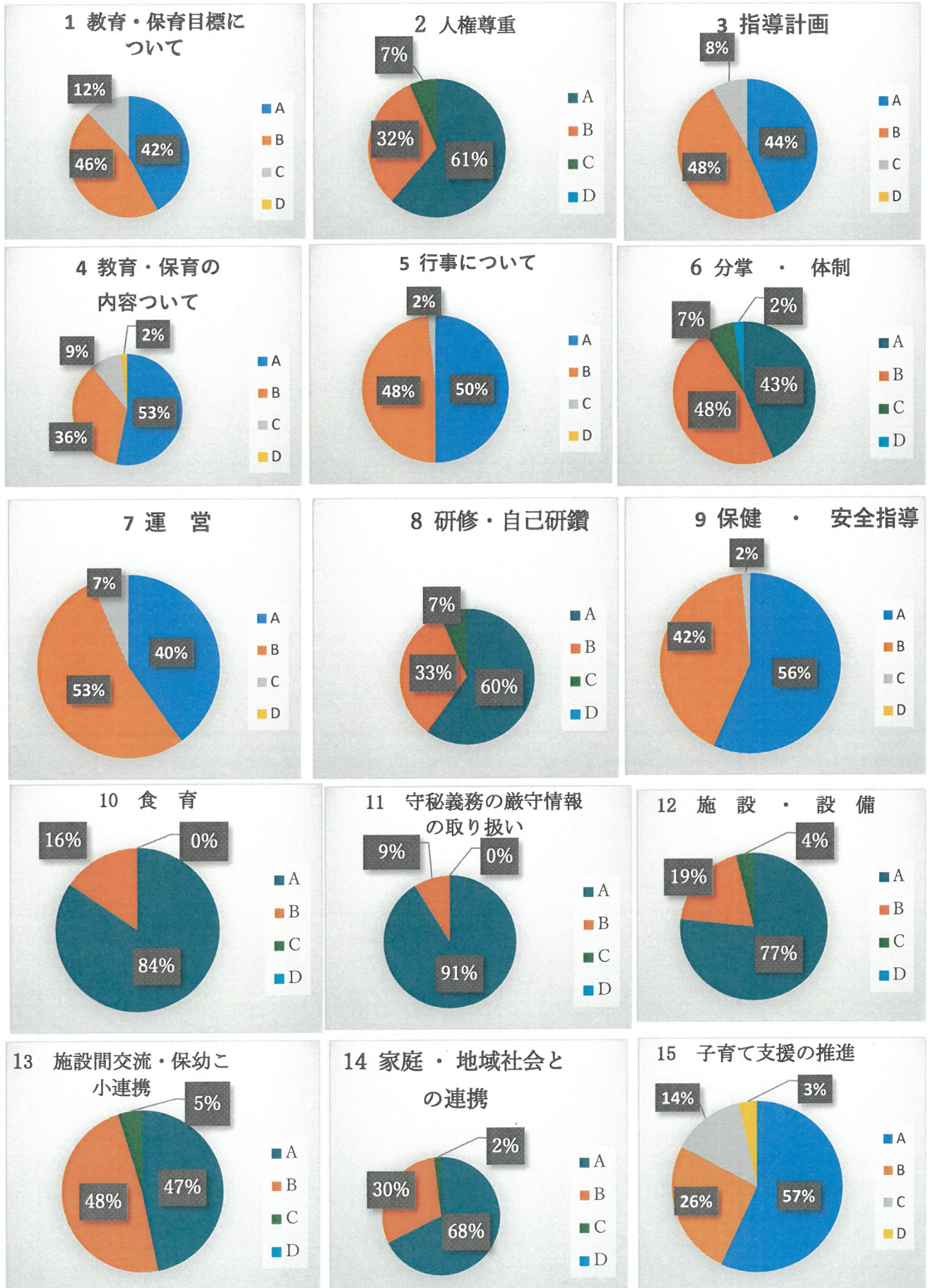
	内容	総評
1	教育・保育目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に合った理念、目標を教育保育に反映している。園の実態や・目標とされる保育、教育に向けて、良い方向、対応に向けられるよう努力していると感じた。 ・2年目の鬼門を迎え、職員全体が共通理解に努め重点目標が教育・保育を果たし、凛とした揺るぎない3年目に迎えることができる。
2	人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な保育、声掛け、対応を感じられた。 ・1人ひとり違う子ども達に対し、しっかりと向き合っその子に合った対応をしていたと感じられた。 ・1人1人の性格や個性を把握しそれぞれのペース、特性を考え対応していたと思う。 ・職員同士思いやりを持ち仕事に取り組む
3	指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、保育指針、保育目標を全体で確認し理解を深めて保育の中で実施していく
4	教育・保育の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が日々の保育実践を通じて、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上を図るとともに、保育の課題等への共通理解や協働性を高め、こども園全体として保育の質の向上を図っていくために、職場内外での研修の充実が図られている。
5	行事について	<ul style="list-style-type: none"> ・行事が多いことに苦慮している。しかし、意欲的で楽観な職員は前向きに検討している。
6	分掌・体制	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運営の内部統制の円滑化を促す、主幹が中心となり、手分けして職務の整理、分配を行っている。

7	運 営	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達のやりたい気持ちを大切にし、経験をさせてあげることにかけていた。 複数担任なので保育観をできるだけ同じにするよう日々の保育の中で話し合いができていた。 一人ひとりの成長や変化についても語り合い、子ども達と共に笑顔で仕事ができている。 ケガの無いように常に気を配り子ども達を見守ってきた。
8	研 修 ・ 自 己 研 鑽	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による園内研修の希望もあり、次年度に実施することで各々の職員に保育の向上を期待します。 今後も継続した（職員）教育が求められていくと思う。 職員が日々の保育実践を通じて、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上を図るとともに、保育の課題等への共通理解や協働性を高め、こども園全体として保育の質の向上を図っていくために、職場内での研修の充実が図られている。
9	保 健 ・ 安 全 指 導	<ul style="list-style-type: none"> 保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態等を踏まえつつ、施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員共通理解や体制づくりを図っている。
10	食 育	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患を有する子どもの保育については保護者と連携し、医師の診断及び指示に基づき適切な対応を行うとともに、食物アレルギーに関し、自園の体制構築など、安全な環境の整備を行っている。
11	守 義 の 守 報 取 扱 い	<ul style="list-style-type: none"> 秘密保持に関して職員は徹底し遵守している。 保護者個人との面談に関し、丁寧且つ厳守した対応である。 保育士同士の会話で保護者や園児達の批判することや否定的な言動を慎んでいる。
12	施 設 ・ 設 備	<ul style="list-style-type: none"> 施設の危険個所に関して、職員の意見と主幹と協同体で取組み、用務員への報告や修繕へと迅速な対応で繋いでいる。
13	施 設 交 流 ・ 幼 小 連 携	<ul style="list-style-type: none"> 併設している小学校と常に連携をとり、相互のつながりを深め子ども達の生活や学びを共有し、就学への橋渡しがスムーズに行えるよう努めている。 今年度は、小学校の生徒との交流も積極的に行い、よりよい交流が持てた。就学前の子ども達が入学することに期待を持つことでスムーズなつながりとなっている。
14	家 庭 ・ 地 域 社 会 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々との関わりは最近では難しいように思われる中、2年目にして職員の落ち着いた関り保護者支援が実施されている。 保育方針に地域に愛され、地域に根差す」と地域との関わりの方を文書化しています。地域との関わりでは行事を通して丁寧に行われている。
15	子 育 支 援 推 進	<ul style="list-style-type: none"> 保育及び子育てに関する知識や技術など、保育教諭等の専門性や子どもが常に存在する環境など、こども園の特性を生かし、保護者が子供の成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努めている。
16	情 報 の 発 信	<ul style="list-style-type: none"> コドモン活用により、園からの情報発信は活性している。
17	外 部 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価を導入し、園の現状を評価してもらうことで課題が明確となり、改善に向け職員も前向きに捉えている。 子ども達の笑顔、そして職員がやりがいを感じ生き生きと働ける環境づくりに努め、質の向上につながるようにしていく。

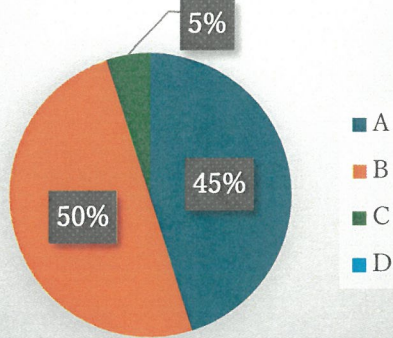
令和5年度12月 勝連こども園自己評価データ

A: 思う B: 少し思う
C: 思わない D: 改善を要する

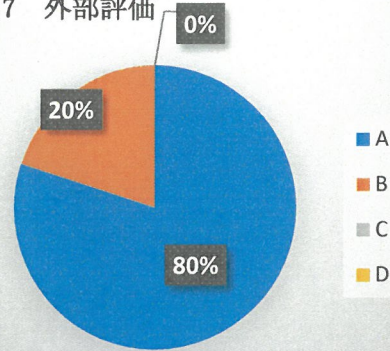
職員15名



16 情報の発信



17 外部評価



項目に関するデータ

A : 思う	➡	A : 58%
B : 少し思う	➡	B : 35.5%
C : 思わない	➡	C : 5.9%
D : 改善を要する	➡	D : 0.6%
		100%

総評

自己評価の高い「A」が58%として示された保育教諭の特徴として、自分の達成した成果や能力を正確に理解し、そのうえで自信を持ち理解している。目標に対して積極的に取り組み、困難に直面しても挑戦を続ける傾向が見られた。失敗を自分への学習の機会と捉え、自己成長のためのフィードバックとして積極的に受け入れているのが伺える。「B」に関しては、自己評価を通して自分自身の弱み、保育への思いが具体的に示され、自身のスキルアップやキャリアプランを考える良い機会となると思う。

「C・D」に関し、設定した目標と自分の思い描く保育の見解の温度差が強く感じていると共に自己肯定感が低い保育士に関しては、職員の声を聞きその人の個性を引き出し一人一人の能力にあった配置や仕事の割り振りを行い、得意な分野で力を発揮し仕事に対してのやりがいと自信が持てるようにする。

また仲間意識を高め、職員が安心して働き成長を感じられる職場づくりを行いながら、園の理念や目標に対し、職員が同じ方向を向いて歩いていけるようにしていく。